

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 東京音楽学院
諏訪幼稚園

1. 園の教育目標

園生活を通じて、素直で明るい子、元気な子、ひらめきのある子を育てる。

2. 本年度の重点的に取り組むことが必要な目標

幼稚園の教育目標を踏まえ、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めると共に、保護者のニーズを理解することで、幼稚園が今後担う役割について検討する。また、評価項目に沿って、自己点検、自己評価を実施することによって客観的に自園を見る目を養い、当園の教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	評価	取組み状況
幼稚園の教育方針を踏まえ、園の教育目標を理解し、共感し、教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かしている	A	幼児一人ひとりの発達の特性に合った指導を行い、一方的にならないように教師間で話し合い等を行い、より良い保育となるよう常に向上を図っている。また、善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性については折に触れて子どもたちに話し、指導している。
個々の行事について、幼児の発達を考えながら実施し、子どもの実態やねらい等について教職員同士で話し合い、工夫や見直しを行なっている。	A	幼児が様々な体験を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮させることができるよう環境を整えている。また、ねらいや内容について、保護者に分かりやすく伝えるよう工夫している。
日々保育の中で、園児の安全・安心への取組を確認し、幼稚園生活が過ごせるよう、また、保護者も安心できるような情報をわかりやすく伝える工夫をしている。	A	コロナ禍のみならず、子どもを取り巻く環境の事故・事象等を教職員間で情報共有すると共に園としての方針を策定し速やかに保護者にも周知するように心がけている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	教職員一人ひとりが学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。幼児のことについて常に教職員間で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有して、客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、更に充実した実践ができるように努力を積み重ねている。保育環境の安全・安心については報道等より新たな情報を収集し、速やかに教職員全体で共有すると共に検討しており、概ね目標を達成することができている。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
教職員間の情報共有	園の教育・保育のねらいや内容についてだけでなく、幼児個々についても教職員間での情報共有、連携をさらに密にして、子どもが安全・安心して園生活が過ごせるように工夫していく。
情報公開の方法	在園児保護者への周知は「れんらくアプリ」を用いて迅速に行うように心がけているが、今後は一般の方にもわかりやすい情報公開をするためにホームページなどの活用もより強化していく。
預かり保育の充実	園で過ごす時間が長くなる預かり保育の子どもたちとの会話、幼児の思いを受け止め、家庭の実態等を考慮し、充実した預かり保育ができるように取り組んでいく。

6. 学校関係者評価委員会の意見

今年度は委員会を1回実施した。委員からは「幼稚園として概ね良好な運営がなされ、また、学校評価にも積極的に取り組まれている。」という ご意見をいただいた。